

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2017年6月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第585号

5月中旬、関西セミナーハウス開所50周年にあたり新旧運営委員など有志が集まる懇談会に参加した。懇談会を終え、一人セミナーハウスの敷地を出ると、雨上がりの新緑は透き通るようにきれいで、水のせせらぎや鳥の音が聞こえた。前方には、見下ろすように市街地が広がり、両脇の田畑には土を耕して畝をつくる人の姿があった。セミナーハウスは本当に自然に恵まれた場所にある。ここで、年に5回開催される1泊2日の開発教育セミナーには、ほとんど欠かさず参加してきた。ここは、忙しい日常から離れた場所に身を置いて、泊まりのセミナーを続けることができる大切な場所であり、事務的な仕事を一手に引き受けてくれるスタッフもいる。私がここに通うようになったのは、開発教育と出会った1997年頃で、そう考えると私にとっては20周年ということになる。

開所50周年記念のシユベネマンさんの講演の中で、日本クリスチャンアカデミーの理念に「アカデミーは、キリスト教の社会に対する奉仕の一



関西セミナーハウス活動センター運営委員

関西セミナーハウスに想うこと

織田 雪江

「つ姿である」という一文があることをかみしめた。公正な社会をつくるために活動するのは、開発教育のねらいと重なり、話し合いを通して社会が直面する問題に貢献することは、開発教育が参加型の手法を用いて課題に向き合うことと共通している。

私はキリスト教主義の学校で働く中で、キリスト教が社会の課題に対して働きかけるものだと理解してきた。最近京都で夜回りを続ける同僚が寄稿していた関西労働者伝道委員会編『イエスが渡すあなたへのバトン―関西労伝60年の歩み』を読んだ。釜ヶ崎や生野やフィリピンなど様々な現場で、人々に寄り添い闘ってきた歩みは、まさにキリス

ト教が多様な人と連帯しながら、社会の課題に取り組んでいることの証だった。そこには、アジア国際夏期学校の他、生野・釜ヶ崎・筑豊・サラワク・ネグロスのスタディツアーで私自身が世話になった人たちや、ここで開発教育セミナーをつくるために尽力した

人たちの名前もあった。私が尊敬する人たちも、スタディツアーでアジア太平洋戦争の傷の深さを突き付けられ、アジアという現場で人と出会うことで、そこにも向き合わなければならぬ課題があることに気づいたことを知った。そしてその課題を、次の世代の私たちに伝えてくれていたのだと思った。なぜなら、私もネグロスで「バナナ村」を

訪ねたことが開発教育につながり、夏期学校でスラムの子どもたちが立ち寄る施設に寝泊まりして、彼らの家庭にお世話になったことなど、様々な現場での出会いが、今の仕事の原動力になっている。

時代の変化とともに新しい課題が生まれてくるが、新しい解決方法も生まれてくると思う。それを探りたくて、第2回開発教育セミナー(7月15・16日)の講師は、Dark(京都のチョコレート屋さん)の吉野慶一さんをお願いした。質の良い力カオを高く買い取ることで国際価格に翻弄される状況から切り離したり、力カオを多様な植物とともに育てることで気候変動のリスクを避けたりするなど、ビジネスで公正で持続可能な社会をつくらうとしている。

関西セミナーハウスは学ぶために大切な場所と時間を提供してくれる。しかし、参加し続けるのは、そこに集う人がいるからだ。これからも多様な参加者とともに、社会が直面する課題に向き合い、解決に向けての可能性を開いていけたらと思う。

(同志社中学校・高等学校教諭)

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

2016 年度事業報告 (総括)

当財団の 2016 年度の実業活動は、以下の通りである。

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

①フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。

②アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

(2) 関西セミナーハウス

①当財団の実業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。

②当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設及び会議場を諸宗教団体、労働組合、文化・社会活動団体、教育機関・学会・研究会等に供した。

(3) 広報活動

①関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況につ

いて、機関紙「はなしあい」、ウェブサイト等によって継続的に情報を発信した。

②機関紙、ウェブサイト等により、年度事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、その他当財団に関する情報を公開した。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事業、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

正味財産増減計算書

2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位: 円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 3,008 | 3,000 | 8 |
| 特定資産運用益 | 19,745 | 90,446 | △ 70,701 |
| 受取会費 | 1,358,000 | 1,352,000 | 6,000 |
| 事業収益 | 113,105,634 | 121,112,124 | △ 8,006,490 |
| 受取寄付金 | 4,233,457 | 5,547,070 | △ 1,313,613 |
| 雑収益 | 249,685 | 1,160,779 | △ 911,094 |
| 経常収益計 | 118,969,529 | 129,265,419 | △ 10,295,890 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費用 | 136,287,017 | 136,830,548 | △ 543,531 |
| 管理費用 | 2,898,197 | 2,900,497 | △ 2,300 |
| 経常費用計 | 139,185,214 | 139,731,045 | △ 545,831 |
| 当期経常増減額 | △ 20,215,685 | △ 10,465,626 | △ 9,750,059 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 特定資産償還益 | 0 | 113,537 | △ 113,537 |
| 経常外収益計 | 0 | 113,537 | △ 113,537 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 113,537 | △ 113,537 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 20,215,685 | △ 10,352,089 | △ 9,863,596 |
| 一般正味財産期首残高 | 412,361,459 | 422,713,548 | △ 10,352,089 |
| 一般正味財産期末残高 | 392,145,774 | 412,361,459 | △ 20,215,685 |
| II 正味財産期末残高 | 392,145,774 | 412,361,459 | △ 20,215,685 |

関東活動センター

●プログラム紹介

2017年度 関東フォーラム 宗教対話―

連続講座「日本キリスト教史を読む」

第1期(明治篇 全7回)

講師

日本基督教団千代田教会牧師
日本聖書神学校、農村伝道神学
校、東京バプテスマンズ神学校講師

戒能 信生

2017年6月8日(木)〜12月14日(木)

会場 日本キリスト教会館6階3号室

明治期の初め、この国にプロテスタント・キリスト教が初めて紹介された時、それはどのように受け取られ、受容されたのでしょうか。新島襄、海老名弾正、植村正久、内村鑑三、新渡戸稲造、柏木義円たち、第一世代のキリスト者たちの生涯とその信仰理解に遡って一緒に考えようとする連続講座です。それは、今日の日本のキリスト教、21世紀に生きる私たちの信仰理解と

展開されます。多くの方の積極的な参加を期待しています。
なおこの講座は、2018年度 第2期(大正編)、2019年度 第3期(昭和編)と継続する予定です。

第1回 6月8日(木)「幕末宣教師の来日と日本の教会の出生」

第2回 7月13日(木)「新島襄の生涯とその初発の信仰」

第3回 8月10日(木)「海老名弾正の生涯とその選択的受容の信仰」

第4回 9月14日(木)「植村正久の生涯とその正統的信仰理解」

第5回 10月12日(木)「内

最近の研究や資料に基づいて

村鑑三の生涯とその贖罪信仰の特質」

第6回 11月9日(木)「新渡戸稲造の生涯とその人格的信仰」

第7回 12月14日(木)「柏木義円の生涯とその牧師とし

ての闘い」

時間は毎回、午後2時から4時
受講料 1回500円(含資料代)

関西セミナーハウス活動センター

●2016年度 修学院フォーラム「いのち」第3回

「いのちの響き」
讃美歌とピアノとお話のとき

ピアニスト 菅野 万利子さん
2017年3月5日(日)

3月1日から始まったレント(受難節)の日曜日の午後、キリストのご受難を覚えながらのコンサートとなった。正面に満開の白梅が見え、春の兆しを告げる舞台となった。「ご受難を偲ぶ調べや梅の花」という雰囲気の中で始まった。

「輝く日を仰ぐとき」「血潮したたる」「十字架上のキリストの7つの言葉」「ああうれし我が身も」など、聞きなれた讃美歌の説明とそれにまつわる話からピアノ演奏。時に激しく、時に静かに胸に語り掛けるような調べに聴衆は大きな慰めを感じた。

休憩をはさんで、「荒城の月」の滝廉太郎、土井晩翠の信仰と生涯。また「アメージンググレイス」「主の祈り」などについても菅野さんのよ

く勉強された話はピアノ演奏と共に参加者を満足させる内容であった。

調律も困難な古いピアノではあったが、そのような衰えを思わせない激しくも快適な音色を聞かせてくれた。この会のために多くの方が協力してくださったことを感謝する。



プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**2017年度関東フォーラム 宗教対話Ⅲ**

「編集者がその本音を語る」
第 1 回「柴崎聰さんに聴く、編集者として、キリスト者として、そして詩人として」

講 師：柴崎 聰さん (元日本キリスト教団出版局編集者) 日
時：7月7日(金)14:00~16:00

会 場：カフェ・エクレシア (台東区蔵前2-7-6 TEL03-3863-2338)
参加費：1,500円(ワンドリンク付)

■**聖書を読む講座 I**

「いのちをかけてのメッセージ『イエスの譬え話』に聴く」(全9回)

講 師：山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日 時：2017年4月~2018年1月
(8月除く)第2火曜
18:30~20:00

④7月11日、⑤9月12日
会 場：早稲田奉仕園スコットホール
参加費：1,200円/学生 500円

テキスト：『イエスの譬え話 2』
新教出版社
共 催：早稲田奉仕園

■**2017年度関東フォーラム 宗教対話 I**

東 西 南 北

◎**財団本部**

小林 裕一、事務局長、関西セミナーハウス副館長兼任 5月31日付で退職しました。
奥田 豊、事務局長、6月1日付で就任しました。

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>
関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>
関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>
関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

本部事務局
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 6F
TEL 03-3207-6198
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス
TEL 075-711-2115
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター
TEL 075-711-2117
E-mail:office@academy-kansai.org

「日本キリスト教史を読む」第 1 期 (明治篇全 7 回)

講 師：戒能 信生さん (日本基督教団千代田教会牧師)

第 2 回 「新島襄の生涯とその初発の信仰」

日 時：7月13日(木)14:00~16:00

第 3 回 「海老名弾正の生涯とその選択的受容の信仰」

日 時：8月10日(木)14:00~16:00

会 場：日本キリスト教会館6階3号室
参加費：1回 500円

■**2017年度関東フォーラム 宗教対話 V 礼拝のためのボイストレーニング**

講 師：友野 富美子さん (元声優、高知放送「キリストへの時間」パーソナリティ 日本キリスト教団経堂緑岡教会担任教師)

日 時：6月5日~7月3日(全5回)
月曜 15:00~17:00

会 場：日本聖書神学校
参加費：1回 1,000円

◆**関西セミナーハウス**

■**月釜 清心会**

日 時：2017年7月9日(日)、9月10日(日)
9:00~15:00受付(1、8月を除く年10回)

於：関西セミナーハウス
年会費：5,000円、臨時会費 1,000円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2017年度お茶のこころと宗教のこころ II 「聖書をいっしょに読みましょう」(全8回)**

座 長：榎本 栄次さん (日本基督教団牧師)

日 時：2017年4月~12月(8月除く)第1または第2木曜
13:30~16:30
④7月6日、⑤9月7日

会 場：関西セミナーハウス
参加費：1回 1,500円 学生 500円 (抹茶含む) 定員：20名

■**2017年度開発教育セミナー**

第 1 回 「開発教育入門セミナー—Think Globally, Act Locally ~「足もと」と「世界」をつなぐ~」
<協力プログラム>

主 催：国際協力機構 関西国際センター (JICA 関西)、京都市国際交流協会

講 師：関西セミナーハウス活動センター開発教育研究会他

日 時：2016年7月9日(日)
10:00~16:30

会 場：kokoka京都市国際交流会館
参加費：無料(JICA関西へ要申込み)

定 員：50名

第 2 回 「ビジネスで持続可能な社会をつくる~インドネシアのカカオとの出会いから」

講 師：吉野 慶一さん (Dari K 株式会社)

日 時：2016年7月15日(土)16:00~16日(日)12:00

会 場：関西セミナーハウス
参加費：10,500円 (1泊2食込)

賛助会費・寄付金報告

2017年4月1日~4月30日
(順不同・敬称略)

◆**財団本部 寄付金**
武藤 高司 10,000
日本基督教団早稲田教会 25,000

◆**関東活動センター 賛助会費**
只野 哲 5,000
全国教会婦人会連合 20,000

◆**関西セミナーハウス 寄付金**
門間 幸枝 2,000
神学生交流プログラム寄付金
松井 直樹 5,000
門間 幸枝 1,000

◆**関西セミナーハウス 寄付金**
武藤 高司 10,000
牛尾 宣夫 10,000
森口 克洋 10,000
なにわ会 5,000

◆**関西セミナーハウス活動センター 賛助会費**
立石 昭三 5,000
李 善恵 5,000
高谷 泰市 5,000
奈倉 道隆 3,000
菅 恒敏 5,000

| | |
|-------------|--------|
| 田中 常雄 | 5,000 |
| 葛原 茂樹 | 5,000 |
| 北風 照子 | 5,000 |
| 古賀 暢子 | 5,000 |
| 棟方 信彦 | 5,000 |
| 東 千代 | 3,000 |
| シュペネマン クラウス | 10,000 |
| 浅川 具美 | 10,000 |
| 塚本 誠一 | 5,000 |
| 福岡 誠之 | 5,000 |
| 浅田 涼子 | 10,000 |
| 松岡 蓉子 | 5,000 |
| 平林 喜博 | 5,000 |
| 佐々木 紘児 | 5,000 |
| 黒田 睦子 | 3,000 |
| 織田 雪江 | 5,000 |
| 中村 信博 | 10,000 |
| 横田 穂美 | 3,000 |
| 橋 俊子 | 60,000 |

◆**関西セミナーハウス活動センター 寄付金**
山添 みどり 5,000
桃山アシュラム 5,000
平林 喜博 5,000
中西 綾子 3,000
網野 俊賢 9,400
中村 信博 30,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。